「最終講義」

「原爆」と人間

本稿は、一九七九年二月十七日、一橋大学
学生・教職員有志が主催して行われた「最終
講義」の要旨をまとめたものです（編集者）。

私はこれまで、この学校で、これ程の人数を前にして
講義をしたということがありません。しかもそれが最終
講義だということですから、些かの緊張を感じないわけ
にはいきません。

最終講義といいますと、多くの場合、自分で学問的
成を概括して、そこに自己なりの評価をそれとなくひそ
ませるといったことになるもののようです。

しかし、私など、そんなにもまっとうな学問的生涯をお
くったわけではありません。少くとも私には自分の
話を完了形でまとめるなど到底できないところです。

話題を完結形でまとめるなど到底できないところです。

石田 忠

（原爆）と人間
一 驱逐舰

第八号 第二号

276
原爆問題は、戦争という政治の一つの極限に生じる、政治的選択である。政治的選択であることを、悪いこととはない。原爆問題と人間問題という主題の説明のために、原爆と人間の概念を規定しようというかもしれません。原爆と人間の概念を規定しようとすると、原爆と人間という言葉は、あたかも科学的論理学を用いて、何かを定義しようとするのである。しかしこの問題は、人間問題の枠組みに置かれたものである。それは、原爆と人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするものである。それは、人間の概念を規定しようとするもので
（45）《環境》と人物

...
いうことができます。ここには、学生諸君が講義で何回
も聞かれたであろうこのご問題、すなわち、科学と思
想との間にはどういった関係があるのかという問題が浮
上って来ます。いやしくも学問をする者にとって、こ
れらの面を統一的に捉えなければならぬということ
とは、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろう思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろうと思います。問題は、そし
て、一つの常識であるろう思います。
（原爆）と人間

体験の上に立って、あるいは自分の体験を直接してい

うことで、こういったふうにも考えられる。しかしそ

すような總括で正しかったか、どうかを検証せず、

ことが民

の様々における思想形成のみの方法ではなくか。しかし考え

たものではないと思います。

なお、見ていこうとする人間は、誰でも、何とか

に学んでいくべきではないかと思います。むしろ「社会科学者、或いは思

すか。このようにして、私の方法が定式化されて来ました。

すなわち、「（原爆）は人間に対して何をなすべきか」とい

てある。しかし、（原爆）は人間に対して何をなすべきか

の問題に対する答えを、原爆生存者原爆体験を分析

するものにおいて、民衆における思想的営ちが考えられて

きました。私は被爆者にあって話を聞くということを

 Revelations on the ground, or how one's own experience is thrown into

the crucible. Consequently, the following thoughts come to mind: in the

same manner, the idea that such a generalization was correct is not

considered. This is understood that various totalizations and

proofs are not investigated, and that this is not true for everyone.

As a result, the following may be understood:

The method of forming ideas is not only a method of thinking. However,

such as social scientists, or perhaps those who think

ought to be studied. This is not that people learn to do something.

Therefore, in order to understand the method, we must study how

it is applied. Then, the idea that "(Atomic bomb) is not necessary for

people" does not make sense.

This is because the problem of answering what to do after the

Atomic bomb was analyzed. However, the method of thinking is the

same. This is why I thought it necessary to listen to the

people who told me. This is what I was trying to do.
あるという立場に立てて、このことにおいては問題をこのように立てて、
それを解いていくということ。それは一つの間接的な

被爆者にとって、原爆体験はつねに彼にとっての苦
悩として存在するものであります。

五年八月六日・九日の日のことであります。あの日のこ
と、被爆者にとっての原爆体験は、言うまでもなく、一九四
五年八月六日・九日の日のこと、ある日のこと、も
と、その日のこと。いまゆる原爆体験、これはたった出来
合ふことばに思いつくことができない。そこで被爆者
は、一日にして、あれは原爆体験、それはあたたというわけで

被爆者にとっての原爆体験は、言うまでもなく、一九四
五年八月六日・九日の日のこと、ある日のこと、も
と、その日のこと。いまゆる原爆体験、これはたった出来
合ふことばに思いつくことができない。そこで被爆者
は、一日にして、あれは原爆体験、それはあたたというわけで

被爆者にとっての原爆体験は、言うまでもなく、一九四
五年八月六日・九日の日のこと、ある日のこと、も
と、その日のこと。いまゆる原爆体験、これはたった出来
合ふことばに思いつくことができない。そこで被爆者
は、一日にして、あれは原爆体験、それはあたたというわけで

被爆者にとっての原爆体験は、言うまでもなく、一九四
五年八月六日・九日の日のこと、ある日のこと、も
と、その日のこと。いまゆる原爆体験、これはたった出来
合ふことばに思いつくことができない。そこで被爆者
は、一日にして、あれは原爆体験、それはあたたというわけで

被爆者にとっても、原爆体験はつねに彼にとっての苦
悩として存在するものであります。

被爆者にとって、原爆体験はつねに彼にとっての苦
悩として存在するものであります。
（149）〈原爆〉と人間

原爆被害というのは、人によって非常に異なると

ければならないと考えています。ただ、純理論的に

「何」を、「自分がどうする方法だけではなく、もっと客観

的根拠がなければならない。その客観的な根拠という

のは何か。それは、「自分がどうする方法」について

原爆生存者の生活の営み、生きる営みとして現われている

といったようなものでなければならないのではなかろう

かと考えています。

したとえば、被爆者の苦悩の一つとして、あの日死んだ

自分の妻や子、そしてきょうだいの死の意味がわからない

ということからくる苦しみというものが存在します。このよ

うな苦悩は、勿論、被爆者のすべてに見られるといった

ものではありません。それがすべてを包み込むものを

原爆被害に、それは「これは最初のあらゆる刺激をいっしょ

ってみれば、生存被爆者の数だけあるということでもな

リーグのことがあるのか、死の意味が Roads だということもでき

たのか、家族の崩壊がみられたかどうか、或いは戦後に

いて原爆症が出たか出なかったか。こう見てもならば、

それがその方向性というのは「何なのか。それは」生

きて初めて、そしてその立場を変えるに足るだけの真

実を集めていった。作業を上げているわけではないのは

必要でなくないだろうかと考えます。しかしそれは、何

かのイデオロギー或いは政治的な立場をあらかじめ

きめておいて、そしてその立場を変えられるだけの事

実を集めていった。作業を上げているわけではないの

必要でなくないだろうかと考えます。そうですね。私は他に

ある一つの方向性を使って自分の研究をすめてい

ます。
生きていく、ということにとっては、それがグラスであ
るか、マイナスであるかといったように考え方をして
いく、それが私の研究の大前提になっているわけで
人間というものは、生きているということにおいて人間
のだれ私は考えています。我々の学問は、そういう、人
間が生きるすべての探究において、貢献するようなもの
はなければならぬ。私の研究は一つの前提があ
ない。このような意味で、私の研究には一つの前提があ

いま一つ、原爆を起こして見られるものとして、
「罪と恥の意識」があります。まず、恥の意識につ
いて説明します。私の学生のひとり、彼はもう何年も
前に卒業したのです。私の学生のひとりで、長崎の被爆者を
史を調査しに行行った時、一人の被爆者の手記を読まし
てもいたということがあります。その一人の被爆者は、長
崎の金比羅山の高射砲隊の兵隊であった方でした。高射
砲隊の兵隊というのは、敵機を撃破した場合、終始、砲
側についていっているわけです。それで、あの日、あの時も、
この兵隊さんは砲側についていたわけです。すると、落下傘についたのが
落ちてきた。そしてピタっと光ったわけです。規則とおりに砲側
についていた人たちは、みんな飛びました。やられた
にじみ、まことに悲惨な状況だったそうですね。しかるに、
彼の方は全く無傷のままに残ったわけです。規則を守っ
「逃げなかった戦友たちはひどい目にあったのに、自分は無傷で残っていたということを彼は非常に恥ずかしく感じたというのです。そして、こんな恥ずかしい思いを及ぼし、やがては、平和運動に献身するにいたったというのです。

この恥の意識は、被爆者にまま見られるものです。そうしてこういう意識は、言葉で表せぬもの、というような過程を経て、（原爆）批判にとどまっている苦悩のものにほかならないと言えます。そうであれ、こんな苦悩に対する防衛のメカニズムというものに気づかざるを得ないのです。

そのような防衛機制として、一つには「忘却」があり、あるいはその生活を支えるもので、このような苦悩においては、死者のことは忘れてしまうということ努力をする、というような生き方をする、それが忘却ということです。そういった被爆者を調査に入っている、もう原爆のこと話したいな、思い出すかな、という対応に思わせないから、自分が被爆者であることを思わせない傾向が現われるからです。

しかし、もはや、被爆者の主観的にそれを受け入れようと考えない、ないという原爆の典型的なタイプをとることになる。ヘーゲンの思想の営為のものは、すなわち努力をしていくわけです。

このような防衛機制をとる場合、その人の思想の営為、ヘーゲンの思想の営為をこの人は遂げていくわけです。
【備考】

一橋論集 第八十三巻 第二号 (152)

ならどよ。ある親父の少年が家の中て焼けましろ。少
兵ちゃんも言う言葉が無かったようであった。父親は何
とします。ある父親の少年が家の中で焼けましろ。少

【備考】

一橋論集 第八十三巻 第二号 (152)

ならどよ。ある親父の少年が家の中て焼けましろ。少
兵ちゃんも言う言葉が無かったようであった。父親は何
とします。ある父親の少年が家の中で焼けましろ。少
方は、一体どういうものであるのでしょうか。罪の意
識からの解放は、このような方向での思考をする
と考えるほうがはならないと私は考えます。それは、己れの
道徳的再生を追求していくということです。罪の意
識からの解放は、このようにする方向での思考をする
ことが、己れの道徳的再生を追求していくということです。罪の意識を理解
したから、自分の行動は避けられるようになったのである。

それでは死者的死による意識を含む地方に位置づけれるということです。死者的死
を人間の歴史の中に位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史の中に
位置づけられるということです。死者的死を人間の歴史中に
いったようなものを壊すだけではありません。一つの地域社会を、丸ごと、全体として壊してしまうのです。人間の人生を支える社会的機制が一瞬のうちに崩壊するとき、人はあらゆる方向感を失います。どうしてよいのかれらられないことは、ある時死ん、死んだ人の死とつながるものとして残るのは、自己保存の衝動だけであるということがわかります。それ以外のものによっては、人間であり続けることができるのです。それは、人間を、その基本的なところで破壊してしまいます。それは、社会を破壊してしまうということです。私は、社会主義社会にいても、原爆はその生存者たちの人生を破壊しているのではないと考えます。社会を破壊したという意味で、それは生存者たちの人生を破壊するצאレストランであるのです。私たちの学問的範囲を倫理的立場に結びつける方法もあるのです。原爆の、未来をどう考えなければならないでしょう。それがあなたの抵抗にあたるのかどうか、それは問われます。原爆の、未来をどう考えなければならないでしょう。それは、人間の尊厳というものです。私は「原爆」と人間にいった「対置」をとる所以をダイエットすることにあります。「原爆」が「対置」に対する抵抗にあるのです。私たちの学問的範囲を倫理的立場に結びつける方法もあるのです。「原爆」の、未来をどう考えなければならないでしょう。それは、人間の尊厳というものです。私は「原爆」と人間にいった「対置」をとる所以をダイエットすることにあります。「原爆」が「対置」に対する抵抗にあるのです。私たちの学問的範囲を倫理的立場に結びつける方法もあるのです。「原爆」の、未来をどう考えなければならないでしょう。それは、人間の尊厳というものです。
の思想とは、まさに民衆の思想であり、民衆が形成しつつある思想です。それは民衆が生きるための思想なのであり、主体を伴ってのみ、人類史に登場したるものであるとは思われません。民衆中の一人において、彼の（彼女）そのものの中にある必然的な根拠をもって生れて来る思想だけが、人間の歴史において私たちは、原爆否定の思想、反原爆の思想と運動に着目すべきではないでしょうか。

（福島大学名誉教授）